

佐久長聖小学校について

〈認可事項〉 私立小学校の設置（1次審査）

- 1 設置の趣意 別紙1のとおり
- 2 学校概要
- (1) 目的 教育基本法および学校教育法精神に基づき、心身の発達に応じて初等教育を施すことを目的とする。
- (2) 名称 佐久長聖小学校
- (3) 位置 佐久市岩村田3638
- (4) 開設時期 令和6年4月1日
- (5) 設置者等
- ① 設置者 佐久市岩村田951番地
学校法人 聖啓学園
理事長 イチカワドイル^{のりえ}徳恵
平成17年7月～ 学校法人聖啓学園理事長 就任
平成21年1月～ ドイルメンタルヘルスクリニック開業
- ② 校長予定者 ^{さとう やすし}佐藤 康
平成27年4月～ 学校法人聖啓学園 佐久長聖中学・高等学校長
- 3 編制、施設・設備
- (1) 収容定員（基準：1学級40人以下）

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学級数	1	1	1	1	1	1	6
定員	30	30	30	30	30	30	180

(参考：児童数見込)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
令和6年度							
令和7年度							
令和8年度							

※全学年同時募集の予定だが、開校当初は1年生と佐久長聖中学校を志望している5,6年生が入学の中心になると見込んでいる。

(2) 教職員組織

区分		校長	教頭	教諭	養護 教諭	事務 職員等	計
基準	計	1	1	6	1	1	8
R6 計画	計	1	1	6	1	2	11 (10)
	専任	0	0	5	1	1	7
	兼任	1	1	(1)	0	1	3 (4)
R11 (完成) 計画	計	1	1	6	1	2	11
	専任	0	1	6	1	1	9
	兼任	1	0	0	0	1	2

※ () は開設当初は児童数が少ないため、教頭と教諭は同一人物が兼任予定
(完成年度までには、専任の教頭を配置)

(3) 教育課程

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	306 (306)	315 (315)	245 (245)	245 (245)	175 (175)	175 (175)
社会			70 (70)	90 (90)	100 (100)	105 (105)
算数			136 (136)	175 (175)	175 (175)	175 (175)
理科			90 (90)	105 (105)	105 (105)	105 (105)
生活			102 (102)	105 (105)		
音楽	68 (68)	70 (70)	60 (60)	60 (60)		
図画工作	68 (68)	70 (70)	60 (60)	60 (60)	50 (50)	50 (50)
家庭					60 (60)	55 (55)
体育					102 (102)	105 (105)
外国語					181 (70)	181 (70)
道徳					34 (34)	35 (35)
特別活動	34 (34)	35 (35)	35 (35)	35 (35)	35 (35)	35 (35)
総合的な学習の時間			70 (70)	70 (70)	109 (70)	109 (70)
外国語活動			163 (0)	141 (0)	163 (35)	166 (35)
合計	1,013 (850)	1,051 (910)	1,108 (980)	1,146 (1,015)	1,165 (1,015)	1,165 (1,015)

上段：長聖小学校の授業時数（教育課程） 下段：小学校学習指導要領の授業時数

※1年生から外国語活動（英語）を実施

※5年生以上は、STEAM教育に充てるため、総合的な学習の時間を多く設定

(4) 校地

延べ面積 28,511.31 m² <一部中学校と共有>

うち運動場面積 10,811.00 m² (基準：児童数180人の場合は2,400 m²)

項目		面積	説明
校舎敷地	校舎等敷地	8,344.00	
	その他	9,356.31	寄宿舎、駐車場
	小計	17,700.31	
運動場	屋外運動場	10,811.00	中学と共用
	小計	10,811.00	
合計		28,511.31	

(5) 校舎

延べ面積 3,414.15 m²うち校舎面積 2,490.85 m² (基準：児童数180人の場合は1,200 m²以上)

種別	室名	室数	面積 (m ²)	備考
校舎 (専用)	普通教室	6	384.00	
	図書室	1	115.00	
	保健室	1	35.00	
	職員室	2	60.00	
	事務室	1	20.00	
	校長室	1	30.00	
	便所	6	111.00	
	廊下	-	873.80	
	その他	9	211.00	
校舎 (共用)	理科室	1	74.70	中学と共用
	図書室	1	158.15	
	家庭科室	1	109.62	
	音楽室	1	198.96	
	美術室	1	109.62	
	校舎 計		2,490.85	
	体育館	1	923.30	中学と共用
	合計		3,414.15	

(6) 校具、教具、図書及び備品

科目	品名	数量 (単位：点)	内訳				備考
		価格 (単位：千円)	R5	R6	R7	R8	
校具	机、イス等	446	386	60			
教具	ミシン、顕微鏡等	1,279	1,279				
備品	複合機、金庫等	185	185				
図書		2,000	800	400	400	400	

4 開設費

財源		説明	開設費		説明
科目	金額		科目	金額	
自己資金			校地		
補助金収入			校舎		
寄附金			校具		
事業収入			教具		
納付金収入			備品		
特定資産取崩収入			図書		
			その他		
財源計			開設費計		財源残額

5 授業料等

項目	経費	備考
授業料（年額）	600 千円	月額 50 千円
入学料	200 千円	
施設設備費（初年度）	100 千円	
入学審査料	20 千円	

※その他、学校給食、スクールバスも実施予定

6 収支計画

(1) 令和6年度収支予算

科目		金額	積算根拠
収入の部	授業料		
	入学金		
	施設設備資金		
	入学検定料		
	補助金		
	前受金収入		
	計		
支出の部	人件費		
	教育研究費		
	管理経費		
	設備関係支出		
	図書費		
	計		
収支	当年度収支差額		
	法人会計からの繰入		
	合計		

(2) 令和7年度収支予算

科目		金額	積算根拠
収入の部	授業料		
	入学金		
	施設設備資金		
	入学検定料		
	補助金		
	前受金収入		
	前期前受金収入		
計			
支出の部	人件費		
	教育研究費		
	管理経費		
	図書費		
計			
収支	当年度収支差額		
	前年度繰越収支差額		
合計			

(3) 準備が必要な自己資金

<私立学校等の設置等に関する審査基準>

設置認可申請時において、当該私立学校等の開設年度の経常経費（人件費、物件費、借入金利息の合計額をいう。）の2分の1に相当する資金を保有していること。

開設年度の経常的経費 (A)	開設時に保有が必要な現預金 ($B=A \times 1/2$)	自己資金 (C)
		<

(参考)

長聖小学校開設時に必要な経費

長聖中等教育学校開設時に必要な経費

開設時に必要な経費合計

1. 設置趣意書

1 建学の精神

自由と愛

2 教育理念

未知なる世界を探求するリーダーを育む

3 目指す学校像

自由で主体的な学びをする児童が互いを尊重し合い教師がそこに寄り添う

4 教育方針

主体的な学びはある一定の制約を受けながらも個別に持つ「自由」を大きな前提としており、この学びに寄り添っていくのが教育の役割である。「学びは協同」であり、自分と他者が同時にかつ同環境に存在するが故に他者を思いやりながら他者との関係性を明確にしていくことが大切であり、真摯に向き合いながら礼節を伴う態度が求められる。また、国家を超えた他者理解(グローバル化)をするためには、自国の文化、歴史の理解と国語力はもとより、英語を中心とした「多言語」の理解と習得も必要になってくる。

5 重点教育施策(重点戦略項目)

- ①「イマージョン教育」を導入し、英語をツールとした学習をスタンダードとすることで、日本語を軸としたバイリンガルの育成を図る。
 - ・各学級に日本人と英語を公用語とする外国人(インターナショナルスタッフ)を配置し、授業や生活を共にする。国語と道徳以外の教科において、一定の時間を英語で授業を行うことで、自然と英語でのコミュニケーションが取れるようになる。その結果、友人との気軽な談笑から授業でのプレゼンテーションに至るまでできる英語力を身に付ける。
- ②非認知能力を育む。
 - ・認知能力と異なり、非認知能力は、集団での行動の中での困難や失敗、挫折などの経験を通して養われるものとする。安全面には十分な配慮をした上で、児童が成功するように教師がお膳立てすることを極力減らす。成功体験だけでなく失敗体験も経験することで、主体的に取り組んだり、粘り強く取り組んだり、先を見通して修正を加えながら取り組んだりすることができるようになる。
- ③「STEAM 教育」(Science, Technology, Engineering, Liberal arts, Mathematics)を取り入れ、考える力を育む。
 - ・STEAM 教育を通して、21世紀型スキル(読解力・対話力・論理的思考・科学的思考・創造性・好奇心・探求力など)を身に付ける。
- ④ICT 教育環境の充実を図り、情報活用能力を高める。
 - ・先進的な環境設備と ICT 教育の中で、モバイル端末を道具として使いこなし、必要な情報を得て、それらを比較して正しい情報を見極め、わかりやすく発信したり、保存・共有したりできる情報活用能力を身に付ける。

6 設置についての本学園の考え

今、世界では、私たちを取り巻く環境が目まぐるしく変化し、将来の予測をすることが困難な時代を迎えており、その中を生き抜いていく人間を形成していくことが求められています。

本学園は建学の精神「自由と愛」のもと、子どもたちが、自分自身の人生を自らの足でしっかりと歩み、自らの手で夢を叶えていく資質と能力を身に付けていくこと、そして、世界中の人たちと繋がることのできる世の中で、どの他者にも寄り添うことができる愛とともに生きていくことができるようになることを目標としています。

また、少子化が進む中、家庭での子どもに対する期待はより一層高まっています。さらに、少子化だからこそ個別多様への対応が求められ、私学の特性を生かすことでその実現が可能であると考えます。

本校の設立は、この使命を達成するためのものであります。